

異常への抵抗 1

(や＝山田 学)〔☆★☆異常への抵抗★☆☆
☆トルコ・シリア大地震！ 亡くなられた方がたに、謹んで、お悔やみ申し上げます。被害にあはれた方がたに、謹んで、お見舞ひ申し上げます。〕

＊
最近、山田 学思想について、より親しく紹介してもらいたいといふお声もあり、すでに一部の方がたには、

『日本のふつうの女性と男性に…』(4枚)

<http://www.jomaca.join-us.jp/futsuu.pdf>

を、公開いたしてをります。

本日これを、JOMONあかでみいサイト〈健康平和研究〉画面からも、リンクいたしました。

この4枚のみにて、山田 学思想の全体模様について、知ることができるやうになりました。これは、今の地球の異常事態に、根本から抵抗する思想でもあります。

今の地球の異常事態については、増田悦佐先生の『人類9割削減計画』(ビジネス社2022年12月)といふ著があります。純情な日本民族には、信じにくいことですが、ダヴォス会議を主催する、世界経済フォーラム (WEF) や、ビル&メリンダ・ゲイツ財団らは、本氣にて、人類9割削減計画を、実行しようとしてゐます。まうはや、かれらは、精神異常の域に入

つたと、わたしなどは、思ひます。かれらは、とくに、西欧人以外を、人口削減したいのであり、西欧人による地球支配を、維持したいがための、民族差別です。これは実は、有名な、かのバートランド・ラッセルから、ある、差別思想なのです。

農業の意図的破壊、疫病騒動と毒性ワクチン、「再生可能エネルギー」への無理な移行…。増田先生のこの著は、各種証拠を挙げつつ、かれらの計画を、暴いてゐます。

ただし、そんな、精神異常な計画を、かれらに近い、(アマンド・ハマーが創業した)オクシデンタル石油や、また、ロックフェラー財団が、牽制するのではないかも、増田先生は、指摘してをられます。いづれにせよ、資本制人間社会の〈終末〉と、考へられる今、地球の異常事態について、一般人が正しく理解し、対抗すべし。〕

(『人類9割削減計画』231～232ページより・原文の太字部分に___を付しました。)〔アマンド・ハマーは1990年に世を去ったが、アル・ゴアという「二枚舌の天才」とウォーレン・バフェットという「投資の神様」がオクシデンタル側について、WEF・ゲイツ連合を見張っているかぎり、歪んだ正義感や政治的な方便で人口を9割も削減するなどというでたらめは、やらせないと思う。

また人類9割削減計画を推進中の5財団中、4つはテッド・ターナー、ビル・ゲイツ、マイケル・ブルームバーク、ジョージ・ソロスと創業者が存命の新興財閥系だ。残る

ひとつがロックフェラー財団という旧財閥の代表格なのも、土壇場でのどんでん返しを予感させる。ロックフェラー財団が、始祖が財を成す源泉となった石油を本心から見捨てることあるだろうか。

独占禁止法によってスタンダード・オイルが解体された頃から、オイルメジャー各社は死んだふりをして棺桶の中に納まっていて、死体の検分に来たライバルののどぶえの喉笛を噛み切って甦るような荒業を何度もやってのけた連中だ。地球温暖化程度の脅しに震え上がっておとなしくしているとは思えない。再生可能エネルギーへのインフラ転換が惨憺たる失敗に終わるまでは待って、それから化石燃料インフラへの再転換でぼろ儲けする気だろう。

さすがに人類9割削減計画は実現できないだろうとタカをくくって、こんな連中に任せておいたら、可処分所得の大部分は石油会社に召し上げられてしまう世の中になるかもしれない。

やはりWEF・ゲイツ連合の野望を暴くのも、再生可能エネルギーへの全面転換を阻止するのも、食糧危機とほんとうに怖い疫病の蔓延を防ぐのも、だれかがやってくれるだろうと思わずに、我々自身がやらなければならない課題だろう。〕

(や)〔事態について、わかりやすくまとめてくださった、増田悦佐先生に、感謝いたします。〕